

『設計部門のDX成功方法』受講者アンケート 集計結果

n=5

質 問		100点	75点	50点	25点	0点	平均点
		とても ○	○	まあ まあ	×	とても ×	81
1	講師の説明は分かりやすかったですか?	2	3	0	0	0	85
2	テキスト・資料は分かりやすかったですか?	1	4	0	0	0	80
3	口頭説明でお見せした資料は分かりやすかったですか?	2	3	0	0	0	85
4	講師の話す内容に共感できましたか?	4	1	0	0	0	95
5	DXの重要性は理解できましたか?	4	1	0	0	0	95
6	DXの成功法則は理解できましたか?	0	3	2	0	0	65
7	貴部署でもDXに取り組んでみたいですか?	5	0	0	0	0	100
8	自力でDXを推進できそうですか?	0	1	3	1	0	50
9	講義内容にご満足いただけましたか?	1	4	0	0	0	80
10	この講師の他の講義も聞いてみたいですか?	1	3	1	0	0	75

11 この講習会で、ご不満だった点がありましたら、お教え下さい。

特になし。

特に不満はありませんが、一つあげるとすれば、DX化のツールにどんなものがあるのかを少しご紹介いただきたかったです。

5つの講演のダイジェスト版ということもあり、もう少し詳しくお聞きしたい章がありました(第3章のAIOSの作成のところ)。

AIOSの名詞定義について補足が欲しかったと考えています。初めての受講でしたので、専門用語かと思い、あとから調べましたが出てきませんでした。

セミナー名は「設計部門のDX成功方法」となっており、内容について心配していた。セミナー紹介文も設計に特化したような内容であったため、記載をもう少し検討いただいた方がよいように感じました(当職は品質管理であるが、結果的には設計部門以外にも適用できる内容であり安心しました)。

12 この講習会で、良かった点がありましたら、お教え下さい。

生産性を向上させるための考え方が非常に重要ということが解り、貴重な時間でした。

業務の構造化(見える化)を自社でも取り組み始めているが、今回のAIOSのベースを見て、抜け漏れがあることを把握できました。業務目的体系表のように目的と紐づけられていなかったのも、ぜひ実践したいです。

従来のムダ取りは関係者を否定し抵抗勢力が現れる、という部分には共感できました。

本来やるべき仕事の品質が劣化するために、やらないよりやった方がいい仕事は一切やらないという強い信念が必要だと痛感しました。

前職での経験や他社コンサルでのアンケート結果の共有等を交えながらお話しいただき、理解促進につながりました。

危機感を持たせてくれる内容だった。

13 その他、ご意見・ご感想等ありましたらお願いします。

「業務の「見える化」のために時間を割くのが困難」という私の質問に対する「危機感を持ってやる必要がある」との先生の言葉に、自らがいかに小さな視点しか持てていなかったかを思い知らされた気がします。ありがとうございました。

失敗原因ワースト5に弊社はほぼ全て当てはまっており、衝撃でした。自分のできる範囲で周囲を巻き込みながら進めていこうと思います。とても勉強になりありがとうございました。

今後、DXやマネジメントに関するセミナーが開催されれば、改めて受講させていただきたいと考えています。

理解不足のところもあると思うので、最後に見せていただいた「本日のまとめ」をいただきますと幸いです。